❶川嶋印刷㈱の「大きな絵をかこう」
❷東北ヘアーモード学院のヘアーショー
❸千厩地域男女共同参画推進クラブの寸劇
❹透明感ある歌声で観客を魅了したより子ライブ
❺アートで明るく生ぎるかわさきによるフラッグアートワークショップ
❻一関地域子育てネットワークコーナー
❼モッフルをはじめとした飲食コーナー

市民と行政が共に考え行動する「協働のまちづくり」を進める上で、大切な要素の一つが市民活動。
市民、団体、企業、行政の参加で８月31日行われた「いちのせき市民フェスタ08」の様子をリポートします。

市民活動の元気を発信

いちのせき市民フェスタ08

同フェスタは管内ＮＰＯ団体の連携や情報交換を行っているいちのせき市民活動促進会議インアーチが主催し、一関文化センター体育館で行われました。

これまで、同会は市民活動団体の交流の場として「いちのせき市民活動Ｉ―フェスタ」を２年間開催。今年は、まちを元気にするのは市民活動団体だけでなく市民、企業、行政などすべてであるとの思いから、名称を変更して行ったものです。

生活や地域のための自発的な市民活動が元気に行われることは、協働のまちづくりを進めるための大切な要素。フェスタは市の地域おこし事業の助成を受け行われました。

▽地域おこし▽ちびっこ▽文化・スポーツ▽環境▽福祉▽飲食―の六つにゾーニングされた会場に38団体が出展。各団体の工夫を凝らした展示、体験、販売のほか、二つのステージでのイベントや文化センター中ホールでの講演会など、さまざまな催しが繰り広げられました。

フェスタは午前10時、老松先人顕彰太鼓保存会による勇壮な太鼓演奏で開幕。七つのライブイベントが多様な来場者を引きつけました。

東北ヘアーモード学院の学生40人は「チェンジ」をテーマにしたヘアショーで、人の魅力をヘアスタイルで表現しました。ステージの最後はシンガーソングライター「より子」ライブ。「夢の果実」など7曲を電子ピアノを演奏しながら歌うより子さんは、繊細さと力強さを併せ持った歌声で観客を魅了しました。

展示・体験・販売ゾーンでは、農家の女性で組織するファイトグループが優しい味のトマトアイスとトマトパンを販売。きらり☆わいわいっこまつり実行委員会は０円おもちゃ市やフリーマーケットを行いました。

ちびっこゾーンで子ども２人と過ごしていた橋本優子さん＝藤沢町＝は「今日はより子ライブが目当て。ボランティアの方もいるコーナーは、子どももわたしもゆっくり過ごせていいですね」と話していました。

インアーチの代表を務めるＮＰＯ法人レスパイトハウス・ハンズの小野仁志さんは、「今後もこの取り組みを継続することが大切。継続した情報発信で市民活動が活性化されれば」と語りました。

多様な団体による多彩な催しは、さまざまな考えを持つ市民が自分なりの形で市民活動に参加するきっかけになりそうです。

敬老会

今年の当祝者は約１万2000人

長寿を祝福

20年度市敬老会は９月から11月にかけて、各地域・各地区ごとに催されています。招待者は昭和４年４月１日までに生まれた、今年度末で満80歳以上の人。９月１日現在で１万２０９５人（一関４７２２人、花泉１７３４人、大東２１６３人、千厩１３６６人、東山８５２人、室根７５７人、川崎５０１人）で、そのうち88歳の米寿は６１２人です。

各会場とも、福祉活動推進協議会や自治会など、各地域・地区の皆さんの企画による細やかな配慮と心のこもった運営により進められました。祝い品贈呈や「本日を元気で迎えられましたことに心からお慶びを申し上げます。豊富な人生経験を生かし、ますますご壮健で活躍くださいますようお願い申し上げます」との浅井市長からのお祝いのことばなど、祝賀ムードの中、出席者が高らかに乾杯。祝宴では、当祝者の皆さんが近況を報告し合ったり、地域の皆さんによる祝いの歌や踊りで健康長寿を祝いました。

そのうち、９月13日川崎体育センターで行われた川崎地域敬老会には当祝者５０１人のうち２１９人が出席しました。出席者のうち最高齢は小野寺菊助さん（１０２）。浅井市長から花束を手渡され、にっこりと笑顔を見せていました。

また、大東ふるさと分校で14日行われた室根第10区自治会敬老会では、26人の当祝者のうち12人が出席。カサブランカの会の皆さんが「大黒舞」などを披露し、かっさいを浴びていました。

上　各種記念品の贈呈、歌や踊りのアトラクションで盛り上がった川崎地域敬老会
下　和やかに行われた室根第10区自治会敬老会

100歳

菊池さん、伊藤さんが誕生日

菊池和（かず）さん（川崎）

菊池和さんは８月30日、１００歳の誕生日を迎え、入所先の特別養護老人ホーム寿松苑で29日、祝う会が催されました。親族や入所者、施設職員が見守る中、阿部保健福祉部長が和さんに祝い状と記念品、花束を贈呈。親族からは花束、施設職員からは寄せ書きとケーキが贈られ、和さんの長寿を祝いました。

大東町大原の千葉忠質さんと慶さんの４女として生まれ、盛岡の女学校を卒業後、和裁を教えていたという和さん。たくさんの人たちからの祝福に、長男の秀一さんが「皆さんのお力添えで１００歳まで長生きできました」と代わって感謝を述べました。

誕生祝いの品を贈られ祝福を受けた菊池和さん（中央）

伊藤納子（のりこ）さん（千厩）

千厩町磐清水の伊藤納子さんは８月30日、自宅で満１００歳の誕生日を迎えました。親戚や老人クラブの皆さんがお祝いに訪れ、長寿を祝福する中、阿部保健福祉部長が祝い状や花束などを手渡しました。

納子さんは今でも毎日練習しているという大正琴を演奏。「星影のワルツ」「おいとこ」を披露し、笑顔で「今日はありがとうございます」とお礼を述べました。

納子さんは同町磐清水生まれ。一関病院で学び、結婚前は助産師として関東の病院で勤務。帰郷して故栄二（えいじ）さんと結婚後も助産師を続けました。子４人、孫６人、ひ孫７人に恵まれ、テレビの水戸黄門が大好きです。

大正琴を元気に演奏してみせた伊藤納子さん（右）